

■学識経験者等幹事（コーディネーター）

| | |
|--------|--|
| 石井 智 | アスリート・ネットワーク事務局長 |
| 植田 真司 | 大阪成蹊大学マネジメント学部教授 |
| 海老 久美子 | 立命館大学スポーツ健康科学部教授 |
| 杉本 厚夫 | 関西大学人間健康学部教授 |
| 高橋 一夫 | 近畿大学経営学部教授 |
| 田村 匡 | 大阪成蹊大学マネジメント学部教授 （スポーツコミッション関西初代事務局長） |
| 長ヶ原 誠 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 |
| 富山 浩三 | 大阪体育大学体育学部教授 |
| 長積 仁 | 立命館大学スポーツ健康科学部教授 |
| 二宮 浩彰 | 同志社大学スポーツ健康科学部教授 |
| 原田 宗彦 | 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 |
| 藤本 淳也 | 大阪体育大学体育学部教授 |
| 松永 敬子 | 龍谷大学経営学部教授 |
| 水野 利昭 | 大阪成蹊大学マネジメント学部教授 |

※敬称略、五十音順

■スポーツコミッション関西 代表理事、理事および監事

| 会員 | 名称 |
|------|------------------------------|
| 代表理事 | 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事（コクヨ株式会社） |
| 理事 | 株式会社アシックス |
| 理事 | 大阪ガス株式会社 |
| 理事 | 大阪体育大学 |
| 理事 | 株式会社大林組 |
| 理事 | がんこフードサービス株式会社 |
| 理事 | 関西大学 |
| 理事 | サントリーホールディングス株式会社 |
| 理事 | ダイキン工業株式会社 |
| 理事 | デサントジャパン株式会社 |
| 理事 | 南海電気鉄道株式会社 |
| 理事 | 西日本電信電話株式会社 |
| 理事 | 日本生命保険相互会社 |
| 理事 | 株式会社博報堂関西支社 |
| 理事 | パナソニック・パナソニックビジネスサービス株式会社 |
| 理事 | 丸一鋼管株式会社 |
| 理事 | ミズノ株式会社 |
| 理事 | 株式会社三井住友銀行 |
| 理事 | 株式会社りそな銀行 |
| 理事 | 原田宗彦（早稲田大学スポーツ科学学術院教授） |
| 監事 | 株式会社電通関西支社 |
| 監事 | 一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長 廣瀬茂夫 |

※2018年5月31日現在（役職・会員種別順、法人・個人、五十音順）

スポーツコミッション関西 事務局

〒590-0012 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁11番1号 関西大学人間健康学部内

事務局長 北口 洋 (kitaguchi@sckansai.jp)

事務局次長 林 雅也 (hayashi@sckansai.jp)

お問合せ)072-229-2540 URL)http://www.sckansai.jp E-MAIL) info@sckansai.jp

スポーツコミッション 関西 （概要）

2007（平成19）年5月、社団法人関西経済同友会のスポーツ・観光推進委員会（当時）は「日本で初めてのスポーツコミッションを関西（大阪）から」と題して、その意義と可能性を提言しました。

この提言は新聞報道等で紹介され、近畿経済産業局の「関西スポーツ産業のポテンシャルと今後の方向性について（平成20年3月）」レポートでも引用されたほか、折からのスポーツ・健康ブームや「スポーツ庁構想」等も議論される中で、東京都、新潟、さいたま、仙台等全国各都市で検討が開始されるなど、我が国におけるスポーツコミッション設立機運の先がけとなりました。

スポーツコミッションは、1979年アメリカのインディアナポリスで街の活性化のために設立されたのが始まりです。当地では、国際大会・全米大会などのスポーツイベントの誘致などを積極的に行い、重厚長大産業の衰退に伴い「忘れられた街」が「アマチュアスポーツの首都」として甦りました。この成功を機に、今や全米各都市にスポーツコミッション組織が生まれ、相互に連携しながら積極的な活動を行っています。

一般社団法人 関西経済同友会では、その後も引き続き関係各方面と協力を重ねながら、スポーツコミッションの活動内容・組織の検討を続け、2011年7月「スポーツコミッション関西準備委員会」としてスタートし、2012年4月に「スポーツコミッション関西」が発足いたしました。

「スポーツコミッション関西」は、関西に存在する豊かなスポーツ産業資産、隣接する生活関連産業の蓄積、将来性豊かな若い人材などの連携・コラボレーションを促す“触媒”や“増殖装置”として機能し、スポーツを軸とした地域産業の活性化や、ニュービジネス創出に貢献・寄与したいと考えております。

「スポーツコミッション関西」の活動理念として掲げたコンセプトは、「スポーツ＋（プラス）」です。スポーツ産業を軸に、隣接するさまざまな生活産業（ファッションや食、旅行等々）の新たな可能性を広げて行きたいという思いを込めております。

経済界（関西経済同友会ほか）が中心となり、スポーツ用品関連企業や圏域の諸大学が連携し、さらに地元の行政とも連携して活動を行う「スポーツコミッション関西」は、他地域のスポーツコミッション構想にない特徴となります。

スポーツコミッション 関西

設置の目的と役割

～目的～ 「スポーツ+(プラス)」で関西に活力を

- ・スポーツは、「する」スポーツから「見る」スポーツ、さらには市民やボランティアが「支える」スポーツへと、多様なひろがりを見せつつあります。さらに、健康・余暇志向の増大や高齢化の進展等ともあいまって、スポーツ産業も、これまでの「用品・用具」にとどまることなく、「健康」「医療」「食」「旅行」「教育」「文化・芸術」「ファッション」等の、近接する産業に対して大きな貢献の可能性を示唆し始めています。
- ・関西は、「世界三大スポーツ用品生産地の一つ」と称されるスポーツ産業の集積を有するだけでなく、上記の周辺生活関連産業の豊富なストックを抱えています。また近年、大学においては、スポーツ・健康関連の学部・学科の新・増設が相次いでおり、スポーツをめぐるこれらの要素の、より有機的な連携やコラボレーションを促すことで、スポーツ発想による既存産業の拡大やニュービジネスの創出、スポーツビジネスを担う人材育成を進めたいと思います。

～活動理念～

スポーツ+(プラス)

2007©関西経済同友会

スポーツ関連産業は幅広い裾野をもち、関西に数多くの基盤が存在する。その振興こそ関西地域の活性化エンジンである。

スポーツコミッション関西は、「スポーツ+(プラス)」の実現を目指し、地域における連携・コラボレーションの触媒装置として機能する。



2018年度 活動内容

「スポーツコミッション関西」は活動方針のもと、2018年度は次のような活動を実施します。

- ①WMG2021関西をきっかけとしたスポーツ振興及び、関西経済活性化への貢献、今年度で第5回を迎えるインターカレッジ・コンペティションに関しては、企画コンペで終わらせず大会のレガシー創出につながるように、優秀作に対するWMG2021関西組織員会からの研究費助成、関連企業によるサポートプロジェクト発足等の施策により、企画実現を支援します。
- ②関西財界、スポーツ団体の活動を支援し、スポーツの振興や経済効果創出に貢献新たに加わった「大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会」「ザ・コーポレートゲームズ関西実行委員会」の委員としての活動を含め、委員等を努める各種団体の活動に貢献する事で、関西におけるスポーツ振興全般の一助となることを目指します。
- ③会員企業、関係団体等に向けた情報発信の発展的継続本年も、ビジネスインキュベーションセミナーを中心に鮮度の高い情報発信を継続する。さらに新たな取組として、WMG2021関西のレガシー創出という実践的なテーマでの発信を行います。
- ④関西におけるスポーツコミッション設立・運営の支援、地域スポーツ振興への提案活動地域スポーツコミッション設立に関して、情報提供等の間接支援を継続していく。具体的なニーズに対しては、JSTA・スポーツ庁への橋渡し・調整やコンサルティング等、直接支援により対応します。
- ⑤ポストWMG2021関西における、関西圏での取組提言の作成ポストWMG2021関西として、どのような取り組みを行っていくべきかという提言を2019年度中に取りまとめるべく今年度より作業をスタートします。
- ⑥スポーツコミッション関西の今後の在り方に関する検討関西の諸情勢を踏まえたスポーツコミッション関西が果たすべき役割・機能について再検証を行い、今年度中にどのような形で存立するべきかについて、方向性策定を策定します。

活動方針

I 組織づくりについて

- ・活動の基盤としての産学連携の横断的プラットフォームづくりを行います。
- ・プラットフォームには、関西経済同友会を中心とする企業、スポーツ用品関連企業、健康・スポーツ分野の研究・教育を推進する諸大学からなる「一般会員」を核として組織する。また、一般会員スタッフおよびスポーツビジネスやマーケティングに知見や経験を有する学識者からなる幹事会にて企画・立案、運営等の活動を推進し、「賛助会員」を含む全会員に対し、各種のセミナーやプロジェクト創出、ビジネスマッチング等を進めます。
- ・関西ゆかりのオリンピックで構成され、アスリートのセカンドキャリアの形成や子供の健全育成をテーマに活動を行う団体「アスリートネットワーク」と連携します。
- ・事務局は関西大学の協力を得て、同大学の人間健康学部(堺キャンパス)に設置します。

II 運営手法について

- ・会員相互の情報・意見交換はもとより、各種の案件提案・相談やコーディネーターからの問題提起等について、インターネットを通じたメール等をとおして意見のやり取りを行います。

III 中長期的目標イメージ

【中長期ビジョン】

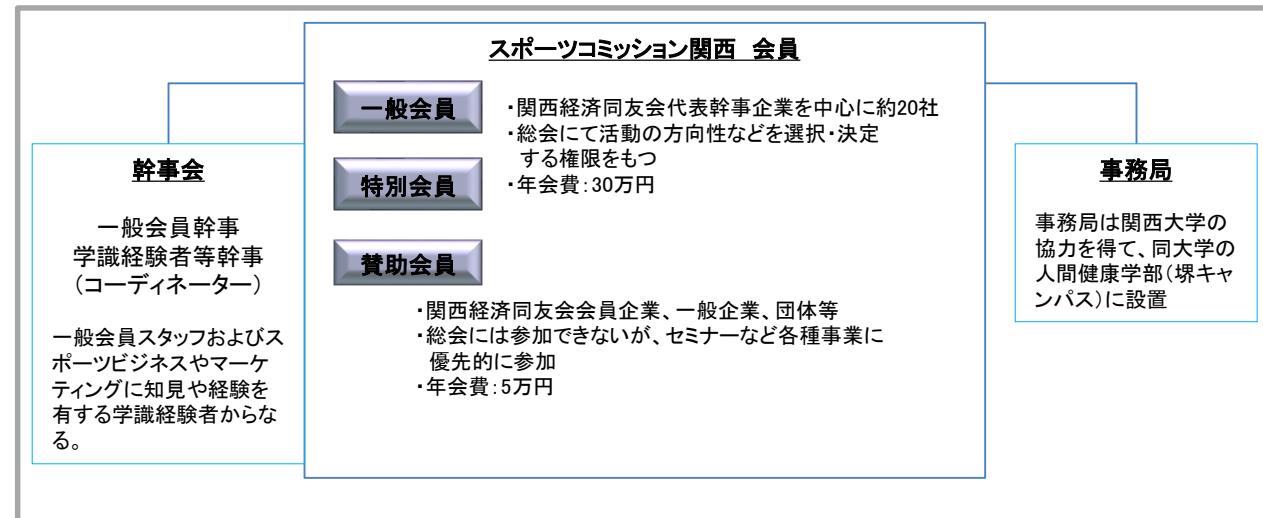
- ・スポーツイベント全般(特にWMG2021関西開催)を中核とした関西経済の活性化への貢献
- ・「スポーツ+(プラス)」のコンセプトに基づいたスポーツ関連産業および周辺分野の活性化推進

【中長期事業目標】(2017年度から2019年度の3年間)

- ①WMG2021の成功に向けた支援を通じ、関西経済の活性化に貢献する
- ②関西におけるスポーツコミッション設立・運営の支援、地域スポーツ振興への提案活動
- ③各種スポーツ団体、スポーツ学会、自治体等との連携による提案・情報発信の活性化
- ④関西財界におけるプレゼンスの向上による一般会員、賛助会員の拡大
- ⑤ポストWMG2021となる、関西経済活性化につながるスポーツイベントの研究

○当面は、2020年3月までの事業として、成果を踏まえた見直しを適宜行います。

～組織概要～



インターネットを通じた日常的な情報共有・交換
インターネットのメールを主に、情報のやり取りをメンバー間にて行う。